



講演会

よみがえる90年前の竹島とアシカたち — 1934 (昭和9) 年撮影の映画フィルム —

昭和初期、竹島のアシカは、動物園などで飼育されて人気を博していました。昭和9年には大阪朝日新聞社が大阪市立動物園（現在の天王寺動物園）の獣医をともなつて、竹島でのアシカ猟を10日間余りにわたって滞在取材を行いました。その際、大阪朝日新聞社の長谷川義一氏がカメラを持参するとともに、16ミリフィルムの映画を撮影し大阪市内で上映したことが記録されていますが、そのフィルムは行方不明になっていました。

今般、偶然にもこの16ミリフィルムの一部とみられるフィルムが見つかりました。このフィルムには、当時の隠岐の風景などを始め、竹島で行われていたアシカの捕獲や竹島の風景が鮮明に記録されていました。戦前の竹島でのアシカ猟の様子がわかる現時点では唯一の動画の記録であるこのフィルムについて、所蔵者である国立映画アーカイブの協力の下、日本国際問題研究所にてデジタルリマスター映像を制作しました。竹島のアシカを研究され、このフィルムを詳細に分析された井上貴央鳥取大学名誉教授に解説いただき、発見されたフィルムが語る当時の隠岐・竹島での人々の営みを読み解きます。

●先生の紹介



いの うえ たか お
井上 貴央 先生（鳥取大学名誉教授）

略歴

1978年鳥取大学医学部医学科卒業。医学博士。同大学助手・講師・助教授を経て、1991年教授に就任し医学部長などを兼任。ヒトを含めた動物の細胞や骨などの形を調べる形態学が専門で、電子顕微鏡によるミクロの研究から目で見えるマクロの研究まで幅広く“かたち”の研究を行う。ニホンアシカ剥製標本の国内初の確認や竹島映像フィルムの発見を機会に、ニホンアシカの研究に取り組む。人体骨格のペーパークラフト・ブック『ボニー』、『鳥取発！青谷の遺跡の骨物語』をはじめ、『カラー人体解剖学』、『日本海・竹島のアシカ猟—1934 (昭和9) 年の取材記録と「中渡瀬アルバム」—』などの著作がある。

開催日

2025年11月14日(金) 14:00-15:10 (開場 13:30)
(講演60分、質疑応答10分)

会場

領土・主権展示館 ゲートウェイホール

東京都千代田区霞が関3-8-1 虎ノ門ダイビルイースト1階

定員

先着80名 (事前申込み制・入場無料)

参加申込み方法

①講演会名 ②開催日 ③参加者全員の氏名
④代表者の電話番号 を明記の上、

info@mtas.go.jp までメールにより送付

※本講演は、後日YouTubeチャンネルにて公開予定です。

詳細はHPをご覧ください。 <https://www.cas.go.jp/jp/ryodo/tenjikan>



お問い合わせ先

領土・主権展示館 03-6257-3715

[所在地] 東京都千代田区霞が関3-8-1 虎ノ門ダイビルイースト1階

イベントの内容が変更・中止となる場合がございます。お出かけ前にHP等をご確認ください。

アシカのイラスト：井上貴央鳥取大学名誉教授が作成 画像提供：公益財団法人日本国際問題研究所